

白き道

今・白き 今この道を 歩いてる
心も 軽やかに
かつて一人 虚ろの中で
光求めて 駆け出した
けれど もう 私は聞いている
本当の事 知っている
そう 私の居場所 帰る里

今・白き 今この道を 歩いてる
かぎらない ままに
あの日懼き 身構えた
水火逆巻く 胸の内
けれど もう 私は聞いている
本当の人 知っている
そう 護ってくれる やさしい光

今・白き 今この道を 歩いてる
喚び声の中を
永く拒んで 聞こえなかつた
自分の無力と 悩んだ人を
けれど もう 私は聞いている
本当の自分 知っている
そう 慈しみの中 生きる者
この白き道 帰る者

白き道

註

今白き 今この道を歩いてる
心も 軽やかに

かつて 空曠の廻かなる処 はてない生死の苦海
安堵心

かつて一人 虚ろの中で
光求めて 駆け出した

かつて 空曠の廻かなる処 はてない生死の苦海
輪転無窮虚妄の世界に於て
悪獸煩惱に襲われ、淨土の救いを求めた

けれどもう 私は聞いている
本当の事 知つてている

でも今はもう既に弘願の法を聞かせていただき
真実のご法義を知つてゐる

そう 私の居場所
帰る里

私の本当の居場所は、阿弥陀様のお慈悲の中
私の本当の故郷はお淨土

今白き 今この道を歩いてる
かざらない ままに

善もいらない、惡をつくろう必要もない
信心を頂く前 三定死の位

あの日

憚き 惶怖 不安

身構えた 強決 確信

水火逆巻く 貪瞋煩惱盛んな自己を省みて強決するが

どうしても安心はできなかつた

今白き 今この道を歩いてる
かざらない ままに

善もいらない、惡をつくろう必要もない
信心を頂く前 三定死の位

けれどもう 私は聞いている
本当の人 知つてている

でも今はもう既に発遣招喚の声を聞き
阿弥陀様に遇えました

今白き 今この道を歩いてる
かざらない ままに

善もいらない、惡をつくろう必要もない
信心を頂く前 三定死の位

私は阿弥陀様のお慈悲の中を生きる者です
そしていづれお淨土に帰らせて頂く者です

白き道

♪ = 125

1 C Em Dm C F C F G C

いましろき いまこのみちを あるいてる こころもかろやかに
かざらないまに よびごえのなかを

8

Fm Cm Fm Gm7 Fm Cm

かつて ひとりうつろのなかで ひかり もとめてか
あのひ おのきみがまえた すいが まさかまくむ
ながく こばんできこえなかつた じぶんの ジム りょくとなや

16

Fm Gm Fm Gsus4 C Em F C

けだした けれど もう わたしはきい ている ほんとのこと
ねのうち けれど もう わたしはきい ている ほんとのひと
んだひとを けれど もう わたしはきい ている ほんとのじぶん

23

FM7 G C C C Dm Em F Gsus G7 C To Coda

しっている そう わたしの いばしょかえ る さとりの
まい ももって くれるやさし いひる さかもの
つくしみ のなか いき いひる さかもの

30

D_b E_bm Fm G_b A_bsus A_b7 D_b Fine

このしろ きみちかえる ものの
このしろ きみちかえる ものの

今・白き 今この道を 歩いてる
今・白き 今この道を 歩いてる

かざらない ままで
かざらない ままで

あの日懶き 身構えた
あの日懶き 身構えた

水火逆巻く 胸の内
水火逆巻く 胸の内

けれどもう 私は聞いている
けれどもう 私は聞いている

本當の人 知つていて
本當の人 知つていて

そう護ってくれる やさしい光
そう護ってくれる やさしい光

喚び声の 永く拒んで
喚び声の 永く拒んで

自分の無力と 聞こえなかつた
自分の無力と 聞こえなかつた

けれどもう 憧んだ人を
けれどもう 憧んだ人を

本当の自分 本当の自分
本当の自分 本当の自分

そう慈しみの中 知つていて
そう慈しみの中 知つていて

この白き道 生きる者
この白き道 生きる者

帰る者 私は聞いている
帰る者 私は聞いている

今・白き 今この道を 歩いてる
心も かつて一人 虚ろの中で
光求めて 駆け出した
けれどもう 知つていて
本当の事 私は聞いている
けれどもう 知つていて
そう私の居場所 帰る里
そう私の居場所 帰る里